

蒲郡市議会傍聴記

地方政治
クリエイト 伊藤 秀昭

3日から7日まで、3日間にわたる蒲郡市議会一般質問が行われた。11月の市長選に立候補を表明している稲葉市長にとって改選前の大事な議会となった。

クラウドファンディング

鈴木貴晶氏(自由)は寄付金及び起草について質問した。鈴木氏は議論の中で、自主財源確保のためにインターネットを通じて不特定多数から資金を調達するクラウドファンディングの活用を要請した。「観光案内板」の出

再生医療のまちへ、

蒲郡の挑戦

が、視察に行った本人が何を学んだのかを話してほしかった。「児童クラブ」は13カ所での直営で行い、今年から小学6年生まで拡大した。

介護保険

8月から介護保険が改定されたことから、問題提起したのは日恵野佳代氏(共産)。

特に特別養護老人ホームや老人保

えることを問題視した。

配偶者の年金収入が193万円で入所者の年金が80万円の

場合、配偶者の年間負担増は77万円余となり手元には月に9万円くらいしか残らない。ここから家賃を払わなければならず、生活保護基準よ

は市内で昨年、カカオ成分を含むチョコレット摂取による実証研究が行われたことから、その成果を聞いた。

企画部長は「チョコレットという身近な食品で生活習慣病予防に関する研究により、市民が楽しみながら健康

著作権の対応

尾崎広道氏(自由)は庁内における著作権などの対応について、自らの経験をもとに、法令等の運用は専門性や厳格性が要請されるので、東三河広域連合内に法務課などを設置して取り

地域包括ケア

国が認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)を策定し国家戦略として取り組みを始めたことに言及。6月から市のホームページで始めた「認知症簡易システム」については、「認知症についての関心を高め簡単にチェックできること」で、早期に相談機



組むべきではないかと提案した。

折から、五輪エンブレムの著作権について様々な議論されており、カラオケ会場の客席数により著作権料が変わることなど、著作権について認識を改める機会となった。

シカを購入するため「アシカプロジェクト」に取り組んだらどうかと提案。蒲郡らしいおもしろい提案だった。

放課後子ども教室

大向氏は東京江戸川区の「すすすくすクール事業」や、新宿区の「落合三世代交流センター」などの視察情報を話した

要になり、学校だけではできない部分もあり、地域の実情に合った「放課後子ども教室」に取り組みとした。

大向氏は東京江戸川区の「すすすくすクール事業」や、新宿区の「落合三世代交流センター」など

が軽減されていたが、今回、世帯分離しているにも配偶者が課税なら、入所者の負担が軽減されなくなり負担が増

健施設などの施設に入所している場合の補足給付が、世帯分離して入所者が市民税非課税の場合、食費と居住費

が軽減されていたが、今回、世帯分離しているにも配偶者が課税なら、入所者の負担が軽減され

り少ない金額で食べたいかなければならぬと、具体的に計算して「独自の支援策」を要請したが、説得力ある議論だった。

7期連続当選の実力を見せつけられた。

ヘルスケア計画 牧野泰広氏(自由)

意識を高め、ヘルスケアのまちを印象づけることができたと答弁。今後の展開について、稲葉市長は「8月に行った再生医療産業化サミットの実績を生かし、市内外のヘルスケア分野の企業誘致につなげていきたい」とした。

国が認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)を策定し国家戦略として取り組みを始めたことに言及。6月から市のホームページで始めた「認知症簡易システム」については、「認知症についての関心を高め簡単にチェックできること」で、早期に相談機